

所 信 表 明

令和5年2月7日



恩 納 村

村 長 長 浜 善 巳

所 信 表 明

本日、ここに令和5年第1回恩納村議会臨時会の開会にあたり、お許しを頂きまして、3 期目就任のご挨拶と所信の一端を申し述べさせていただきます。

去る1月15日に執行されました恩納村長選挙におきまして再選を果たすことができました。

これもひとえに、多くの村民の皆様や各種団体の方々からのご支援とご厚情の賜であり、私のこれまでの取り組みに対します評価と今後の村政運営への期待の表れと受け止めており、引き続き恩納村長として、村政運営を担っていく重責に、身が引き締まる思いであり、これからも初心を忘れず、職責を全うしていく決意であります。

これまでの2期8年間、村民の皆様をはじめ、各種団体等との意見交換を行い、共創の村づくりに努め本村の課題解決に取り組んでまいりました。

「教育の充実」については、うんな中学校の開校、給付型奨学金制度の創設、給食費の無償化を実施しました。

「子育て・福祉・健康の充実」については、認可保育園を2園設置、各小学校への放課後児童クラブを設置、高校卒業までの医療費を無償化、特定検診・がん検診の自己負担無料化、不妊治療の一部助成事業の実施、高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的な事業を実施しました。

「産業の振興・経済の活性化」については、恩納村観光協会の設立、万座毛周辺活性化施設の整備、農業基盤整備、漁港施設整備を実施しました。

「自治会の活性化」については、名嘉真区、富着区、前兼久区、仲泊区の交流施設を整備、村営宇加地団地を整備しました。

「文化の振興」については、恩納村文化情報センターの開館、民俗芸能や山田城跡、仲泊遺跡、国頭方西海道万座毛等の重要な文化資源の保存・活用に努めてまいり

ました。

「環境・景観の保全」については、サンゴの村宣言プロジェクトを実施し、本村の自然を後世に残せるよう山・海の保全に努めてまいりました。

「行政改革と村民サービス向上推進」については、適切な村民サービスを実施するために組織の編成を行うと共に公務能力の向上を図るため恩納村職員人事評価制度を導入しました。

3期目に向けた主要な施策・事業といたしましては、先ほど申し上げました8年間で作り上げた村民福祉の向上を図る事業を継続するとともに、SDGsの理念を反映させた第6次総合計画を基本に、誰一人取り残されない村を目指してまいりたい。

これが私の新たな挑戦であります。

今後4年間の重点施策といたしまして3つの視点で施策を展開してまいります。

一つ目は、「暮らし」であります。

新型コロナウイルス感染症や気候変動の悪化、ロシアによるウクライナ侵攻といった世界的危機は全ての人の暮らしに影響が広がっています。

村民の安心・安全で豊かな暮らしを守るため、妊娠期から切れ目のない子育て支援策を充実させて女性活躍の場、機会の創出を推進してまいります。

経済的支援といたしまして村立の幼稚園・小学校・中学校については、ふるさと納税を財源とした給食費の完全無償化を実施します。

医療費についても高校卒業まで無償化、窓口負担のない現物給付を継続します。

高校卒業後の進学支援として奨学金制度の拡充を図ります。

ICTを活用してグローバル教育を推進し、人材育成を図るため学校教育におきまして、ICT支援員、学力向上支援員、日本語通級指導教室補助員を新たに配置いたします。

定住化につきましては、本村の人口は微増傾向ではあるものの出生数は減ってきており、地域伝統芸能等の文化継承や地域コミュニティ機能を持続させるため、地域活動の核となる村出身の若者を呼び戻すことが必要だと感じており、1期目からの最重要課題として取り組んでまいりました。

若年者の定住化支援策として、令和5年度に村営名嘉真団地の整備を予定しており、子育て世帯を優先入居できるように入居基準を緩和した条例を改正したところがございます。また、谷茶地区定住促進事業につきましては、谷茶区等と協議の場を設けており、商業施設の誘致を含めた定住環境整備の事業推進を引き続き図り、他地区においても計画的に定住促進施策を推進してまいります。

公園整備につきましては、北部振興事業等を活用し事業着手しております前兼久観光関連施設整備事業で子供たちが利用できる遊具を設置いたします。

また、赤間運動公園の機能強化事業として子供から大人まで楽しめる施設として整備を検討してまいります。

次に、急速に進む高齢化対策といたしまして、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最後まで続けていくことができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現してまいります。

道路等インフラ整備については行政の責務と考えており、計画的かつ効率的に整備するとともに誰でも安心安全に暮らせる村として、地域防災体制及び防犯体制の強化を図ってまいります。

二つ目に「観光・環境」についてであります。

本村は、長大な海岸線とイノー、背後の山並み等、恵まれた自然環境のもと古くから農漁業や暮らし、集落のたたずまい等の景観を育てており、これらは観光リゾートにおけるかけがえのない資源となっております。

とりわけサンゴ礁は、漁業や観光業の重要な資源であり

本村の宝です。美しい自然環境を次世代に引き継いでいくために様々な施策を展開してまいります。

国連環境計画が取り組んでいるダイビング、シュノーケリングの世界基準のルールでありますグリーンフィンを本村は国内で初めて導入しており、現在11事業者が認定を受けております。導入した多くの国で観光競争力が向上し観光収益が増加していることから今後も多くの事業者に賛同していただけるよう推進してまいります。

また、自然・文化・歴史を活用した新たな観光振興施策を観光関連事業所と連携し取り組んでまいります。

SDGs推進戦略に基づき適正な観光客数を維持しながら、観光による本村への経済的・社会的効果を高めることで村民・観光客双方にとって持続可能な、環境と観光の共生が実現した村づくりを進めてまいります。

三つ目に産業振興についてであります。

村内の事業所のほとんどが小規模企業となっていることから、商工会と連携し経営の安定化や売り上げ向上に向けた各種支援に取り組むとともに、創業支援による新たな雇用の創出、人材育成などによる中小企業・事業者の育成及び支援に取り組んでまいります。

本村の地域特性を生かした観光連携型農水産業の推進による農水産物の恩納ブランド確立による高付加価値化に努めてまいります。

また、開学から10年が経過したOISTについては、ノーベル賞受賞者が輩出されたことで、更に注目度が増しており沖縄振興に寄与することが期待されております。OISTを活用し地域産業の振興を図るため関係機関と連携し、企業誘致やスタートアップ支援に取り組んでまいります。

今後4年間の村政運営を担うに当たり、所信の一端を申し述べさせて頂きましたが、今後、本村の様々な課題につきましても、村民皆様及び各種団体等の声を直接お伺いし、意見を交わしながら共に考えた施策展開に全力

で取り組んでまいります。

結びに、村民の皆様をはじめ、議員各位におかれましては、村政運営のご支援とご協力をお願い申し上げます。村長就任の所信表明とさせていただきます。

令和5年2月7日

恩納村長 長浜 善巳